

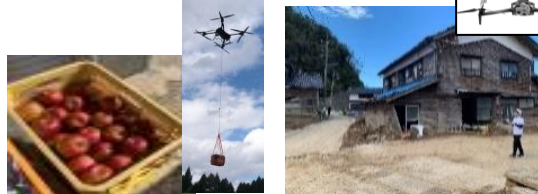
# 【取組 8】奥能登版デジタルライフラインの構築（その1） （プラン記載箇所：53、54ページ）

## ＜目指す姿＞

- ◆ 公民館等のコミュニティ施設を、マイナンバーカードやドローン等のデジタル技術を活用したサービスを提供するモビリティ・ハブとして整備し、平時から災害時までフェーズフリーで活用可能なデジタルライフラインを構築。

プラン掲載の取組 (別冊の掲載ページ)	内容	短期（～R7末）		中期（～R10末）			長期（～R14末）			
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
① 地域のコミュニティ施設をモビリティ・ハブとして整備 【総務部】（82、108ページ）	地域の交流の場であり災害時には避難所にもなる公民館等の地域のコミュニティ施設について、設備及び機能の強化を図り、平時・災害事の各種住民サービスの拠点となるモビリティ・ハブとして整備します。	包括連携協定を締結した通信事業者が携帯ショップ等を防災・通信の拠点として整備		奥能登2市2町の公民館等について、デジタル技術を活用した情報拠点としてモデル的に整備			避難所及びドローンの離発着拠点となるモビリティ・ハブの配置や必要となる設備、運用方法について、国と連携して検討の上、整備			
② ドローン航路の整備 【総務部】（82ページ）	フェーズフリーな物流サービスの実現に向け、モビリティ・ハブを繋ぐドローン航路について、国と連携して検討の上、整備します。	包括連携協定を締結した通信事業者と連携し、ドローンを活用した実証を実施		モビリティ・ハブを繋ぐドローン航路について、国と連携して検討の上、整備						

現在の状況	今後の進め方
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 包括連携協定を締結した大手携帯キャリア（R6.11NTTドコモ、R6.10KDDI）の協力により、携帯ショップでの衛星通信（スターリンク）の導入（R7.7）やドローンによる警察活動等の実証実験（R6.12七尾市/R7.4津幡町）を実施。</li> <li>県と奥能登2市2町が共同で、孤立の恐れのある公民館等の地域の拠点14か所をスターリンクやデジタルサイネージ等を配備した拠点としてモデル整備（R7当初）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や民間事業者、市町等とともに取組を検討・充実</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>② 奥能登豪雨への対応において、ドローンによる果樹収穫支援、道路状況確認、被災家屋調査等、新たなユースケースを試行。</li> <li>ドローンによる警察活動の実証実験（R6.12、R7.4）を実施。【再掲】</li> <li>民間事業者が能登に整備したドローンポート（6か所（R7.12月現在）を核にインフラ点検やパトロール・監視などの実証を開始（R7.9補正）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者等と連携した実証の継続実施</li> <li>・国、市町と連携して取組を検討・充実</li> </ul>



関連する指標（R7.12末時点）	発災直後 R6.12末時点	現 状	目 標
現時点で関連指標なし			
現時点で関連指標なし			


# 【取組 8】 奥能登版デジタルライフラインの構築（その2）

（プラン記載箇所：53、54ページ）

## ＜目指す姿＞

- ◆ 公民館等のコミュニティ施設を、マイナンバーカードやドローン等のデジタル技術を活用したサービスを提供するモビリティ・ハブとして整備し、平時から災害時までフェーズフリーで活用可能なデジタルライフラインを構築。

プラン掲載の取組 (別冊の掲載ページ)	内容	短期（～R7末）		中期（～R10末）			長期（～R14末）					
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
③ マイナンバーカードの普及促進と新たな取組の検討 【総務部】（84ページ）	県ホームページや県公式 SNS 等でマイナンバーカードの利便性や安全性を周知し、市町とともに更なる普及を図るとともに、平常時から災害時までのフェーズフリーな活用に向けて、市町と連携して公共施設や公民館等の地域のコミュニティ施設でのマイナンバーカードを利用した取組を検討の上、実施します。		奥能登2市2町で、マイナンバーカードを活用した避難所システムをモデル的に導入									
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードの利便性や安全性の周知</li> <li>・災害時の活用を見据え、公民館等地域のコミュニティ施設での利活用策の検討の上、実施</li> </ul>										

現在の状況	今後の進め方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル庁によるマイナンバーカード等を活用した避難所受付の実証事業を県内で実施(R7.2)</li> <li>・奥能登2市2町で、マイナンバーカードを活用した避難所システムをモデル的に導入（R7当初）。</li> <li>③ 能登3市3町での国の実証事業として、災害時の被災者の所在等の把握に向けて、マイナンバーカードと連携したスマートフォンを活用したシステム「のとピット」を年度内に実証開始（R7.9補正）</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や民間事業者、市町等とともに検討・実施</li> </ul>

関連する指標（R7.12末時点）	発災直後 R6.12末時点	現 状	目 標
現時点で関連指標なし			